

参加無料

ワイヤレス 電力伝送技術 利用シンポジウム

会場・Zoom
ハイブリッド開催



お申し込み

共催：一般社団法人ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム・大分県産業科学技術センター

概要

世界のワイヤレス電力伝送（WPT）技術の現状、社会実装に向けた可能性と課題について解説します。各技術の事例紹介に加え、電波暗室での「機器デモ」を通じて、WPTが機器の開発にどのように役立つかご紹介します。本セミナーは、大分県内外の企業や公的機関の皆様との情報交換や交流を目的としています。

会場

大分県産業科学技術センター 多目的ホール
(大分市高江西1-4361-1)

お申し込み

下記フォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/YFX64f4BbHxfc34m7>

日時

7月30日 2025年 水曜日 開場12:30
13:00～17:00

1. 基調講演 1 13:00～13:30

※ネット配信

一般社団法人ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム代表・国立大学法人 京都大学 生存圏研究所 教授 篠原 真毅
『世界のWPTの研究開発や社会実装に向けた取組状況とその動向』(仮)

2. 基調講演 2 13:30～13:50

※ネット配信

大分県産業科学技術センター 電子情報担当 上席主幹研究員（総括） 幸 嘉平太
『産業界から考えるWPTの利用に向けた期待と課題』(仮)

3. ワイヤレス電力伝送技術利用事例の紹介 14:00～16:00

※ネット配信

- ① パナソニックホールディングス株式会社：MI本部 田中 勇氣
- ② 株式会社パナソニックシステムネットワークス開発研究所：無線ソリューション部 小柳 芳雄
- ③ ソフトバンク株式会社：基盤技術研究室 長谷川 直輝
- ④ 電気興業株式会社：ワイヤレス研究所 関野 昇
- ⑤ 株式会社翔エンジニアリング：藤原 暉雄

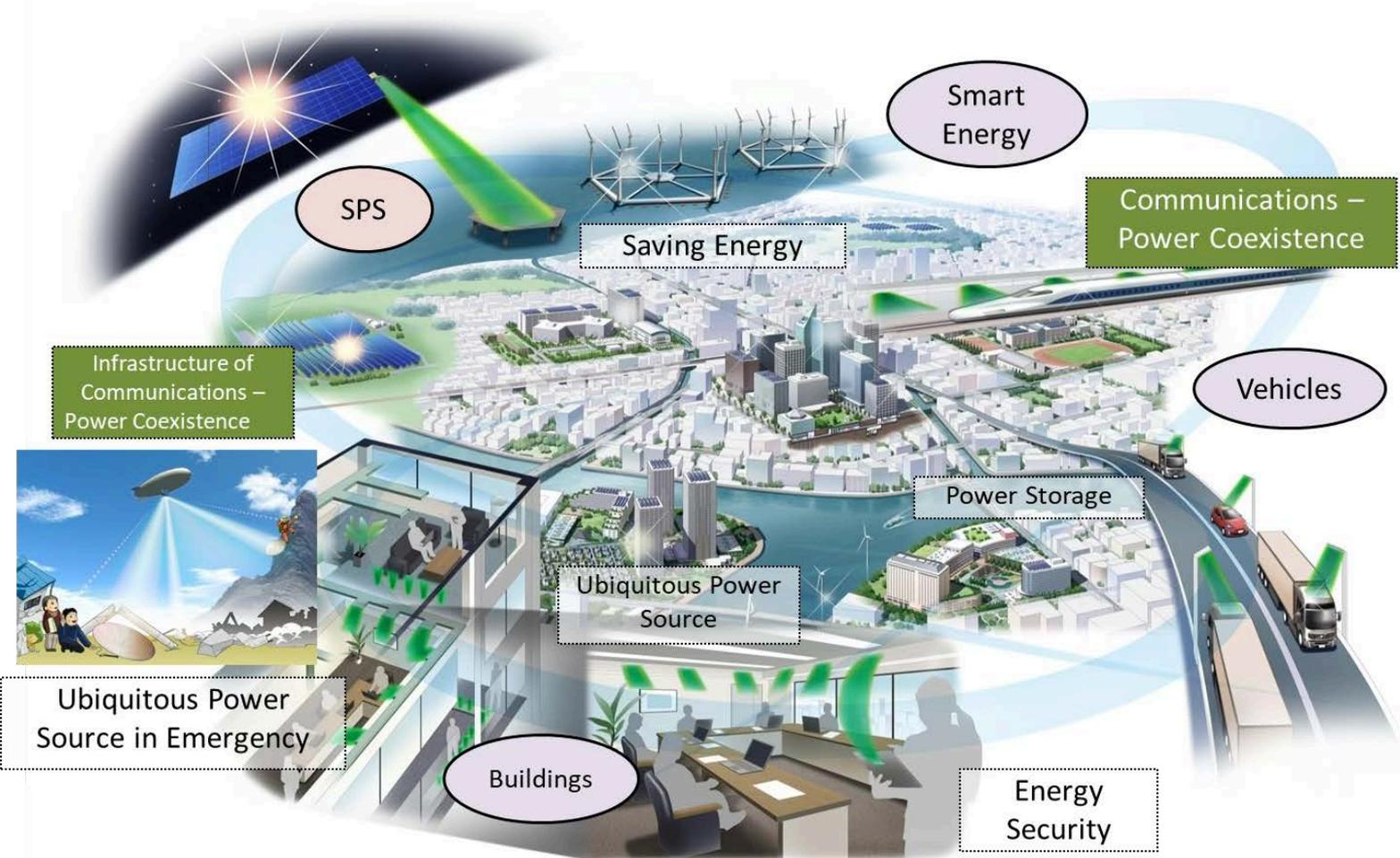
併せて、技術のデモンストレーションを電波暗室にて行います。

4. クロストークセッション 16:00～17:00

上記3. に登壇した企業各社と、聴講いただいた企業や機関の方々との意見交換・質疑応答を実施頂くこととし、会場内に設置した各社のポスターを前にして実施します。

注目されるワイヤレス電力送電

ワイヤレス電力伝送は、非接触給電、無線電力伝送等とも呼ばれ、21世紀に入りその技術が注目され、情報だけでなくエネルギーもワイヤレスで送れるという期待感により、現在世界中で様々な研究開発や商品化が行われています。日本でもスマホ等の置くだけ充電（電磁誘導方式、50W以下）、EV充電（磁気共鳴方式、7.7kW以下）、100W以下の電界結合方式等の近接型は既に制度化、実用化が行われています。



電気が空気のようになる世界へ！ -空間伝送型ワイヤレス電力伝送システム 実用化

離れたところへ給電できるのが、マイクロ波を使う空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムです。米国では1mで最大1W受電可能なシステムが認可されました。国内では、総務省情報通信審議会にて空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件について検討、承認された結果、2022年5月には我が国で世界初の電波法の省令改正が行われ、920MHz、2.4GHz、5.7GHzの空間伝送型ワイヤレス給電の商用利用が可能となりました。現在はさらに商用利用を拡大すべく、第2ステップの議論を始めています。

答申された空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの概要

主な用途	周波数帯	受電電力	送電距離	最大空中線電力 (送電出力)
センサー等	920MHz帯	～数百 μ W	～5m	1W
センサー、表示器等	2.4GHz帯	～2W	～10m	15W*
センサー、表示器等	5.7GHz帯	～数百mW	～10m	32W*

(屋内使用、*無人での使用に限定)